

太郎川再生計画検討委員会での委員意見抜粋

全体に関すること…全 公園…公 道の駅…道 ホテル…ホ

分類	意見要約
全	町の観光を全て一括した観光協会なので、地域の皆のための観光戦略を十分に計画していただきたい。
全	大きな投資をして観光産業をやらないといけないという説明が十分に町民が理解できるようになっていないのではないか。
全	コロナ禍での資材高騰の中で工事金額が上がるということが起こるのではないかな。
全	貯金を貯めてきているからお金があるということは確かにそうだが町の財政が厳しいのも事実であり、皆さんにご理解していただいていた方がいい。
全	お金があるといっても、こういったことをするとすぐなくなってしまうのではないかな。
全	28億の計画だがそれではすまない。削れるところは削って負担を少なくしていくという姿勢は必要。
全	丁寧で細やかな説明をしていただきたい。町の方から積極的に発信を。
全	理想形に一気に仕上げるのでは大事業になりすぎ予算もかかる。時間がかかってもいい、財政的な余裕が出来ればまた違う施設も作って充実させていくという考え方もあっていいのではないかな。
公	梶原には子どもが遊べる場所が非常に少ないので、太郎川公園が子どもが遊べるような場所になればいい。
公	子どもさん連れをやるのか、家族連れをやるのか、視点を定めないとこのままではわからない。
公	公園内の木が大きくなり、落ち葉が側溝につまったり、公園内の見通しが悪くなったりして交通の妨げになっている。公園の一体感を出すため、景観のためにも選木して早急に切ってほしい。
公	公園内の木が大きくなりすぎて非常に影で、特に冬場は歩くのにもスリップする。明るい環境が必要であり、子どもを見ながらでも安全に遊べる、休みの度に行きたくなるような環境整備をしてもらいたい。キャンプ場もただ作るではなく安全管理もできるセキュリティのしっかりしたものが必要。
公	公園であるので、木そのものを切ってしまうということに違和感がある。枝打ちや他の方法も考えるべきでは。
公	梶原は子どもが遊べる場所が少ないので、人を集めようと思ったら子どもが遊べるような場所があれば親もついてくる。遊具もすぐくして公園をきれいにすれば、遊べる場所があるっていうのは絶対強い。
公	以前は遊具が公園のだいぶ上の方であって腐ったが、もっと管理しやすい下の方に作ったら遊具があることもわかりやすいし管理もしやすいのでは。
公	梶原は独自の植生があり、太郎川公園を生かして楽しめるようにしたらいい。女性も公園づくりに参加して生かしていけるような公園づくりができればいいのではないかな。
公	くさぶき側とホテル・レストラン道の駅・公園側のお客さんが流れる仕組みを作る必要があるのでは。
公	子どもたちが喜ぶようなコト(アメゴのつかみどり、田植え、どろどろになって遊んでも温水で流せるような設備など)を構えていかないと近隣に負けると思う。徐々に小さなことでもやる必要。
公	公園全体の一体化というのであれば、ふるさと市場前のスペースや温泉やプールもまとめて考えるべき。特に温泉の駐車場問題。既にオーバーフローしている時がある。
公	キャンプ場は高知方面から来ると町の店屋をどこも通らずに来ることになると思うので、是非、予約等の時に宣伝とか伝達の仕方、売れる仕組みづくりをお願いしたい。
公	梶原にも猫がいっぱいいて、キャット王国とか、お年寄りとか子どもの癒しになるものでそういうものができないかな。
公	キャンプに加えてグランピング施設も一つや二つあってもいいのでは。一つの方向性だけにこだわるんじゃなく、世の中お金を使いたい人もいるので、その辺を踏まえて計画を練ってほしい。
道	ホテルの宿泊者と道の駅の利用者の食事のニーズは違うのではないかな。ホテルのレストランとは別に道の駅の利用者が簡単に食べられる食事処が必要ではないかな
道	梶原の欠点は売れるものがない。オープンまでに作っていくというのはわかるが、難しいと理解しており、売上目標があることはいいが、厳しさがあるのでもっと数字をシビアに出すべき。

分類	意見要約
道	イートインスペースは固定ではなく時期によってお客も変わってくるので狭くしたり広くしたり自由度の高いものにしては。
道	入口の風除室、子どもや障がい者の方がゆっくり車から降りられる屋根の着いた場所がどうしても必要。
道	利益はトントンでいいだろうが、どうやって加工品を作っていくのか、売上を上げていくのかを明確にした方がいい。
道	今でも売れるのはマルシェの方が売れる。新しくできても売れないところには持っていけない。その対策が必要。
道	マルシェも道の駅も同じ経営者なのになんで会費が別々にいるのか。そんなんやったら辞めるというような感じになる。
道	売れる売れないは施設によってだと思うので、設備さえしっかりしてたら出したいという者も出てくる。ハサップの関係で作り手が厳しくなってきたり、許可を道の駅でとってもらって出すとか。
道	そばやうどんとか軽食類が出せるようにならないか。
道	レストランで使ってくれなければみんな出さなくなる。余ったから引き取りに来いではやめたになる。
道	梶原でこういう道の駅を構えていくのは大変と思う。加工品も町内で作ればいいのはわかるが、県外でもどこでもいい商品を集めてくる等お客さんの欲しいものを揃えていく方がいろいろな条件、交通条件を考えてもその方がいいのでは。
道	採算がたつようなことを考えても絶対無理と思う。生産者も手数料が2割とか取られて、出す人も少ないと思う。余ったら持って帰ってくれでは出す人が本当におらんなる。
道	道の駅運営そのものを考えて、農産物の販売だけは運営するのは当然無理な話であって、お客さんの望むようなテナントに入ってもらって集客をし、その結果として農産物なども売れるということにしては。
道	どこにでもあるけど梶原にしかない味というのがある。そういったものを道の駅で扱い、キャンプで使ってもらうなどの仕組みづくり。伝統食の講習等で若い人に梶原の伝統をつなぐという取り組みも大事になってくる。
道	道の駅まで遠い区もある。出荷してわざわざ取りに行かないといけない状況は年配者には厳しく、道の駅まで運んでもらうような動線を作ることも考えては。
道	後々の管理のことも考えて施設設計をしないと、後から直すというのは大変になってくる。新しい雲の上の市場が出来たときのマルシェのあり方を議論しておく必要があると思う。
道	布施が坂からいきなり日吉ではなくて、今度は太郎川で停まろうよっていうトイレも考えていけないといけない。どんなトイレがみんなに好まれるのか。
道	隈研吾さんが作った施設は敷居が高いという声があり、入りやすい建物、入りやすい仕組みづくりや町民の方の些細な声が届く仕組みづくりをしてほしい。
道	道の駅にも畳のスペースで公園で疲れた人たちがちょっと食べたり買ったりして休めるスペースが必要。
道	道の駅なりホテルなりで地域の飲食店や民宿なりを紹介するような取り組みをしてほしい。
ホ	ホテルとレストランは早く欲しい。そのうえでこれまではレストランはホテルに泊まっている方優先でほかの人が入れないという状況が見られたので、その点を検討してほしい。
ホ	市場にあるものを利用してレストランをやってほしい。今までそれが出来てないと思う。
ホ	町民が作ったもので食べてもらったりしたい。
ホ	人が入るスペースばかりではなく、もっと重厚な部屋をお客は求めるのでは。部屋数を少なくしてもその方がお客さんは来ると思う。その方が施設も長く持つと思う。
ホ	箱モノは必ずしもプラスになるとは限らない。これからの若者に負担をかけるであろうと思う。金を使うのなら若者が来てくれる、梶原町の者が利用してくれるようにしては。
ホ	ホテルの部屋の広さを広くしてレストランは地元の食材を使って満足してくれる料理を使って納得して満足してくれる料理も提供し、客単価を倍にしてはどうか。稼ぐことを念頭に置いていけばやっていけるのでは。

分類	意見要約
ホ	スタッフなどレベルの高いお客様サービスができるような体制づくりも非常に重要であって、スタッフを集めることも含めてハードルが高い。
ホ	お金をとれるものにするならもっとしっかりした部屋にするべき。若者の部屋を何個かつくったり来てくれた者に気持ちよく対応できることにしないといけない。
ホ	人口減少に対応するためにもホテルが大事であり、その計画についてみんながやってみようというような計画が出来たら投資をすればいい。
ホ	隈研吾さん頼りでのホテルはブームが去ったときにお客さんが来ているのかどうか疑問。何か梶原ならではの来ていただくものを作らないと厳しいのではないかな。
ホ	どこのレベルにターゲットをおいてやっていくのかというところは重要なポイントであり目的をはっきりさせておく必要がある。
ホ	これまでのホテルは隣の音がうるさいなど評判が悪かった。建て替え年数の短さに不満を感じている人が多く、もっと長くもつホテルにしたなら納得される方も増えるのでは。
ホ	町出身者が今のホテルが高すぎでは入れない。帰ってきたときに滞在してやれるところもあってほしい。両方やれたら一番いい。高級な部分と一般の人が泊まれるホテルが理想的。
ホ	高級なホテルにすると、そういう対応がきちっとできるのか。
ホ	自慢が出来たり誇りに思えるホテルにすることが大事
ホ	リニューアルがやりやすい、補修をやりやすい施設ということが大事。
ホ	建てて使ってみてここは変えた方がいいなとなったときに自由に換えられるようにするべき。建物イメージが変わるからやらないでくれというようなのは違う。
ホ	梶原の場合、どなたでも気持ちよく泊まれるホテルがいいんじゃないかな。よそから来るお客さんも大事ですけど、そのために建てるホテルよりも我々が楽しく生活ができればよそのお客さんが来られても、ああここはいい所だねっていう風に多分感じてもらえるので、そういうホテルを目指していくべきではないかな。
ホ	レストランが一つ経営のネックになっていて、泊まる人だけではなくていいシェフを雇って美味しいものを食べさせてもらえる、家族みんなでおいしいものを食べに行けるようなレストランを併せ持つホテルをつくるとよい。小さな美術館を開いたり催事をあわせることで行ってみようか、ついでに美味しいものを食べて帰ろうかという工夫が必要。
ホ	働く人の確保。どこも働き手が足りない。従業員の確保。質も含めて。値段設定、狙いを付けていかないとこれからは大変になっていく。
ホ	人はどこから雇ってくるのか。サービス業は安いわりに激務であり、人集めがネック。経験上、名のあるところでも募集しても人はなかなか来ないのが現実で、梶原の田舎で地元からだけでは難しく、どこからとってくるのかを考えておかないといけない。
ホ	従業員の確保は非常に苦労するんじゃないかと考える。1人雇うだけでもなかなか見つからず苦労しているのが現状。
ホ	スタートしてから人を雇うようなことはできないし、事前にいつ何をするか事業計画が非常に重要。チームワークを作る上でも余裕を持った人材確保が重要。観光協会としてこう進めるんだという計画を出してほしい。
ホ	大きなホテルを建てても集客力がどうかということを町民は非常に危惧している。その見通しについて情報提供してほしい。
ホ	ホテルが出来てすぐはみんな来てくれるだろうが、将来に渡って利益が出るような集客が本当にできるのか。
ホ	新しいホテルの方針、ターゲット、客層や単価を明確にする必要があるのではないかな。そこが明確でないことに皆さん不満を感じているところがあると思う。
ホ	十分な説明が行き届いていないと感じている町民がいるので、気持ちや姿勢を伝えることは大事になってくる。これまでのホテルが27年しかもたなかった原因を明確にしたうえで新たなホテルに取り組むべきじゃないかな。

分類	意見要約
ホ	指定管理は観光協会で確定みたいなことを言ってるが、今まで4回変わってきたように変わってくる可能性もある。町長もずっと町長でいるわけではない。そうしたときに誰が責任を持つのかということを町は考えているのか。
ホ	規模の問題であったり、収支の問題であったり、誰がどういう風に運営するのかわかっていない人が多い。莫大なお金をつぎ込んでいくことに対する不安が多いので、根拠を持った形で取り組んでいかないと理解が得られない。
ホ	大切な税金や町民皆のお金を使うことに対して、ホテル経営がどうなろうとおそらく誰も責任がもてない。結論は10年や20年先に出る。
ホ	予測は予測でしかなく、時代も変化するかもしれない中で予測を立てるよりも実績や社会の情勢と照らし合わせて丁寧に見ていくことが重要であり、予測よりもそのことが大事。
ホ	若い子に聞いても結婚式ができるくらいのものでつくるのがいいというのは1人もいなかった。それができるくらい立派なものを作るというのがネックになっているのでは。そのフレーズをなくしたらいいと思う。
ホ	ホテルの42室は町の民宿とかそういうところのバランスを考えた結果なのか。
ホ	今までのレストランはホテル客でいっぱいですが他が入れませんということが多々あった。それでは困る。また、高級なお金をもらうのだったらそれなりの食事、ラウンジぐらいあってゆっくり過ごせる場所があったらいい。団体客は大ホールで食事をされたい。
ホ	ホテルの客室が山に近づきすぎで部屋に日が当たらないのではないかと。窓を開けたらすぐそこに杉の木があって日も当たらんという部屋もいかなものか。
ホ	テラスは過大ではないか。直接集客するホテルとは別施設であって、これにかかる建設費用だけでも相当な金額じゃないかという気がする。
ホ	温泉、プールの駐車スペースを確保する必要があるのであれば、ホテルの1階を全部駐車場にして2階からホテルにしたかどうかという意見もある。
ホ	経営状態も考えれば温泉にもお客さんは入ってもらわないといけなくて、駐車場が少ないと思うので公園全体としての計画、駐車場、人の動きを検討していただきたい。
ホ	ホテルの支配人について、全国相当なプロフェッショナルがコロナ禍で埋もれている。そういった方を選んで経営を任せるとかいう方法もあるのではないかと。
ホ	職員を今より増やさないといけないなかで寮など住む場所をどのようにしていくのか。
ホ	自分が何かするときにはいつも最悪の事態が起こったときにどうするかということを考えてものづくりをしたい、何か生み出したり関わったりを心がけてる。常にそういうことを考えて取り組むべきでは。
ホ	ホテルを作る上での金額があまりにかかり過ぎるんじゃないかという町民の心配がある。大きなホテルを作った計画通りお客さんが来てくれるのであればいいが、競争も厳しい世界であるし、さらにはお客さんが来た時にそれをもてなすだけのスタッフ対応ができるのかなど不安は一つではないと考えている。
ホ	収益分岐が35パーセントという風な説明で、もう少し稼働率を上げれば部屋数も若干少なくてもいいのでは。大ホールも以前は大宴会であるとか結婚式であるとかそういう時代もあった。けれどもそれを目当てに作る施設ではないなら、規模縮小というか必要最低限のスペースでいいのでは。
ホ	ホテル建設の結果として何が欲しいのかということを先に考えるべき。売上予測だけでなく、じゃあいくら欲しいんだというところから考えて計画して投資をする。とすると町が示す54室の場合も30室の場合も20年で割れば年間の差はその違いだけで町がどうかなるというほど大きいと思えない。できればリスクは小さい方がよく、それなら部屋数は少ない方がいい。そもそもの目的として経済効果だけではなくてやりがいとかこの町に住みたい町にしたいとかっていう目標があり、結果があるはず。もう少しどういう結果が欲しいのかっていう議論が進むという方向の議論もあったらいいんじゃないのか。
ホ	建物の検討はお客さんとして町民が使うという方向の考え方はしなくていいんじゃないか。誇りに思えるホテルにはしたいし、従業員だとか活躍できる町にはしたいが、僕たちが使ったどうかという視点はあまりいらんんじゃないか。
ホ	ホテルの経営についてはわからないことが多いので専門家なり経験されている方などに話をしていただけたら、意見が聞きたいと考えている。時代も変わってくる中で役場の説明を聞いても現状話されている規模への心配が消えない。

分類	意見要約
ホ	収支での計算は出てきているが、こんな理想でいけばなんの問題もない。しかしながら結果として本当にこういう成果が本当にだせるのかどうかというところがやはり誰しも保証のできないところではあって、そこを皆さん心配している。従業員も大勢必要であり、それだけの経費を出していく事業が本当にできるのか危惧している。計画に対する説明責任は必要。
ホ	時が経てば経っていくほど商機を逃す。規模は現状維持プラスアルファで一部屋の面積を大きくして客単価を上げていくことが必要。災害時にも使える大ホールも必要。
ホ	世の中の流れを見るといずれ行き詰ってしまうことが起きないか心配する。縮小というか自粛したらどうかとを感じる。
ホ	町外のお客様は早くホテルを建ててくださいと言ってくださる方がたくさんいる。梶原ファンを増やして外貨を稼ぐのが根本。早くしないと梶原ファンがどんどんいなく危機感がある。規模の大きさは心配するところもあるがやりようであり、それよりどんなホテルにしたいかが大事ではないか。
ホ	もっと議論が必要。出された計画の稼働率と小池さんが計算されたホテル稼働率のあまりの違いに不安が消えない。不安がなければもっと前向きに検討していける。
ホ	回廊を削れば金額も削れるしホテルの建物自体が山から離れた状況でやれるのでは。
ホ	今までのホテルがバリアフリーが至っていないと感じたので今度は大切にしてほしい。
ホ	梶原の環境において特に滞在時間が長くなると思われる部屋については退屈させない部屋を作ることが大事。あとは運営が大事でサービス業の運営の難しさはもうすごい。
ホ	町民の意見をしっかり聞き入れたうえでホテル経営のプロと共にコンセプトや客層設定をして建物の設計に入るべき。
ホ	金額も大事だし、住みたくなるような町に貢献するとか金額に表れない部分も大事。投資額が多すぎるから削る方向だとしても慎重にやらないと結果としてまた町民が自慢に思えない建物になってしまったら本末転倒。客室を減らしても内容も非常に町民の人も納得するとか自慢したくなる誇りに思えるようなホテルになったらそれはそれで意味のある効果ではないか。
ホ	ホテルが出来た、計画は良かった、でも始まって数年で町財政をひっ迫するような状況になってしまうということはないとは言えない。そこを慎重に考えないといけないという時点でこれより大きくするという議論はしにくいのではないかな。税金を使うのだから簡便なところは簡便にしないと町民は納得しない。
ホ	部屋数が少ない多いではなくて、この会に責任をもって自分が引き受けてやっていくんだという人がいないから議論が中途半端なことになっている。そういう人が必要。
ホ	町はこの話し合いをしても図面はそのまま、変える気もない、建前上、会を開いて結局計画どおりにしましょうと感じる。決定権を持っている人がいない中で話が堂々巡りをしている。決定者がこうするんだと言ってくれないとそれに対して意見も言えないし、話し合いの意味があるのかわからない。
ホ	障害者にやさしくバリアフリーであってほしいとか、町内の人でもよそにはよう行かなくなったので、家族でゆったり過ごせるお風呂の付いた部屋があればよいなどの声もある。これからの整備目的によるターゲットによってシャワールームだけの部屋などの検討も。そうすれば予算も削られる。やはり、いいホテルでいい食事をしたいとニーズあり、部屋代が高くてよいお料理を出せば充分満足いただけるものと思う。
ホ	予算とか設計は専門家の人がちゃんと計画を立てて進めてもらえれば。なるべく早くホテルが建ってほしいということを願う。
ホ	ホテルにもお客さん専用の温泉があった方がいい。お金を払ってくれるところは別にお風呂があった方がいいという感覚もある。
ホ	改めて見直しをするならば、住民からの意見もきちっと吸い上げていく。次のホテルを作るというための今度からはまた町民の意見を聞く会を立ち上げていけば、そこで意見のすり合わせができて、全員が納得するということは無理にしても多くの意見を吸い上げた形で集約することができるんじゃないか。
ホ	ホテルの方向性として規模感は小さめの方がよいと思う。施設が大きくて稼働率が低い状況で黒字と言われても納得できない方も多いと思う。逆にいつも人がいっぱいのにぎわっている施設だったら町民も誇りに思いうると思う。高稼働率で回る小さめの施設という方向性がいいんじゃないか。
ホ	富裕層が来ても納得してもらえるホテルの機能があればよいと思う。それにふさわしい対応をしてお金もちゃんといただくような運用と部屋があってほしい。

分類	意見要約
ホ	少なくとも1年遅れるくらいは仕方がないと思うが、太郎川公園にホテルは絶対必要と皆さんわかっているのだから、そこは町民の希望を叶えるうえでやっぱり早く再検討することは非常に重要。
ホ	新しいホテルは縮小するならかやぶきの方へやっても、日当たりがよく一番条件がいいと思う。
ホ	5万円の部屋が1つくらいあってもいいし、マッチ箱が並んだような部屋よりかはリッチなところに泊まれる、そういう部屋もあっていいのではないかな。
ホ	雲の上のホテルがなくなったということは4千人を超える宿泊客が構原からいなくなったということ。経済効果の話が既に起こっており、早く再整備をお願いしたい。
ホ	経営が続いていくということが大事で、作ったホテルが収益性がすごく悪くて続かなくなるというのが問題になっている。規模も予算の問題もあるが、経営が続いていくということが町の魅力が続くということにつながるので両方を追って町民の誇れる施設にしてほしい。